



期末考査が終わり、1・2年生はのんびりした気分であるかもしれませんが、3年生はいよいよ追い込みの時となりました。調査書交付願いの提出も終わり、出願校もほぼ確定したと思います。

現役生は受験直前のこの時期に飛躍的に成績が伸びるものです。毎日の課題を決め、一日一日を大切に活用し、最後まで全力を尽くしてください。体調管理にも十分留意してください。放課後、大勢の3年生が進路室に来ますが、目標に向けて奮闘している3年生に心から声援を送りたいと思います。

## ①【センター試験 & 大学入試情報】

12月7日、大学入試センターから、2019年センター試験の志願者数(確定)が発表されました。

|      |           |                    |
|------|-----------|--------------------|
| 志願者数 | 57万6,829人 | 前年比 5,842人(1.0%)減少 |
| 現役生  | 46万4,949人 | 〃 8,621人(1.8%)減少   |
| 浪人生  | 10万6,682人 | 〃 2,734人(2.6%)増加   |

|       |       |                     |
|-------|-------|---------------------|
| 現役志願率 | 44.0% | 前年比0.6%減だが、過去2番目に高い |
|-------|-------|---------------------|

※ 来春は高校卒業見込み者が約5000人、0.5%減少しますが、現高校3年生(約105万7,000人)の44.0%【千葉西高校では328名(90.9%)】がセンター試験を受験します。

|                                        |                 |                                      |
|----------------------------------------|-----------------|--------------------------------------|
| センター試験参加大学・短大数                         | 852大学<br>(過去最高) | 国立大82 公立大90 私立大531<br>公立短大13 私立短大136 |
| 私立大学が5校、公立大学が1校増え、公立、私立短期大学が各1校減っています。 |                 |                                      |

※ 志願者全体に占める現役の割合は80.6%で、依然『現役中心の大学入試』ではありますが、浪人生の比率が前年より2.6%増加しました。千葉西高校でも、浪人が過去3年間で28名⇒46名⇒52名と激増しました。事務室には今、浪人となった卒業生たちが頻りに、調査書を交付してもらうために訪れています。浪人している先輩達にも頑張ってもらいたいと思います。

※ 私立大学のさらなる定員厳格化は保留となった(定員の1.0倍を超える学生分の減額措置が見送られた)ため、昨年以上に合格者が絞込まれる可能性は減ったと考えられています。とは言え、現3年がこれから臨む入試は、昨年涙を呑んだ大勢の浪人生も含めて、たいへん厳しい戦いになるのは間違いないでしょう。

※ ベネッセ9月模試の志望者数の動向では、難関私立大学では志望者が減少しています。  
・早慶上・MARCHは志望者が1割減少しています。もっとも、この減少分は、合否判定ではE判定に該当するような受験者層が受験を諦めてしまった結果によるものだと考えられます。

⇒ この状況で、チャレンジ精神を最後まで保てるかどうかが鍵だと思います。

- ・成成明武(成蹊、成城、明治学院、武蔵大)は前年並みです。
- ・日東駒専では、日本大学が減少しているものの、東洋大、駒沢大、専修大はやや増えています。
- ・大東亜帝国(大東文化、東海、帝京、国士舘大)や地方私大などは志望者増の傾向です。

⇒ より安全圏を狙って志願者は全体的に下方へシフトしています。これまでだったら「押さえ」と考えていた大学の志願者が増加します。併願校選びが難しいとは思いますが、併願校であっても、必ず『その大学に行きたい理由がある』学校にしてください。

## ② 【3年生『センター試験説明会』について】

17日の月曜日、答案返却後、3年の各HRで担任の先生による、「センター試験説明会」が実施されます。『受験票』と『受験上の注意(冊子)』が配布され、詳しい説明があります。

聞き逃してしまうと、致命的なミス(受験できない!・採点してもらえない!)を犯してしまうこともありうる内容ですので、よく説明を聞き、配付された資料を熟読してください。

### ● センター試験説明会の主な内容

- [1] 受験票・記載内容の確認 ・写真の貼付 ・自署欄の記入 など
- [2] 受験会場 ・必ず自分の受験会場を確認し、絶対に間違えないように下見をしてください。  
友達と同じ会場とは限りません。
- [3] 試験 ・解答科目等の記入時の注意について  
・解答上の注意(筆記具はシャープペンではなく鉛筆)、所持品など  
・リスニングに関する注意(ICプレーヤーの操作手順・解答(マーク)は必ず設問ごとに行う)など  
・入退室・追試験などに関する注意事項
- [4] 自己採点について ・1月21日(月)2限の自己採点結果の転記について
- [5] センター試験利用の私大出願、国公立大学の二次出願、について

※ 説明会での内容に加えて12月7日、大学入試センターから以下の発表がありました。  
教室掲示用のプリントも用意しますが、自分でもホームページで確認してください。

『試験問題冊子の注意事項等について(解答用紙の見本)』  
『解答科目欄の不適切なマーク例』

## ③. 【ネット出願】



★ 出願方法は、多くの大学で紙の出願からWEB出願に変わりつつあります。

ネット出願は、願書を取り寄せる手間が省ける、受験料の支払いが便利(コンビニで支払える)、受験料の割引があるなどのメリットが多く、今後ますます増えていくでしょう。しかし、手軽に出願できる反面、ネット環境に慣れていない、メールアドレスを取得していない、自宅にプリンターが無いなど、戸惑う受験生も少なくありません。たとえば顔写真も、プリントアウトした出願書類に貼り付ける場合もあれば、ネット上で顔写真の画像データをアップロードする場合があります。出願校によってそれぞれ異なりますので、事前に両方を準備しておかなければならないかもしれません。また、出願マニュアル等がPDFファイルである場合は、PDF閲覧ソフトが必要ですが、一部画面がスマホでは閲覧できず、パソコンが必要な場合もあります(今年度、推薦で出願した本校生徒で、実際にそのような事態が発生しました)。

特に入力ミスには十分注意してください。出願学科はもちろん、出願時に受験科目を登録するケースがあります。間違った入力で登録してしまうと、あとで変更できない場合が少なくありません。ある受験生は、間違った受験科目を登録してしまい、確定後に何とか変更できないか、保護者が大学にお願いに行ったそうですが、事前登録の変更はできず、泣く泣く勉強していなかった科目で受験するしかなかった、という話を大学の方からお聞きしました。

出願締め切り直前になってから焦らないために、早めに出願予定校の出願方式、必要なものなどを十分確認しておいてください。不明な点は遠慮無く進路指導室に聞きに来てください。